

厚生労働省神奈川労働局
平塚労働基準監督署発表
令和8年7月13日(月)

令和8年7月13日

【照会先】

平塚労働基準監督署

安全衛生課長 高松 崇

(電話)0463(43)8618

労働災害ゼロ(630)パトロールを実施

－ 6月16日(火)横浜ゴム(株)本社・平塚製造所 －

平塚労働基準監督署(署長 後藤忠行)は、令和4年から当署で取り組んでいる「630運動」の一環として、署長による工場パトロールを実施しました。「630運動」とは、6月30日を「ろうさいゼロ」の日(630)と設定し、各事業場の安全衛生活動の年次点検を行って、作業者の災害防止の意識を高めようとするものです。今年は「あなたの 安全(行動) ありがとう」をキャッチフレーズに、当たり前の行動を毎回きちんととっている人を積極的に評価することを呼び掛けています。作業ルールを遵守している人は「守って当然」とみなされがちですが、職場の安全文化はこうした方により支えられていることを忘れないでください。

今年は、令和8年6月16日に横浜ゴム株式会社本社・平塚製造所をパトロールしました。



平塚労働基準監督署

あなたの 安全(行動) ありがとう
ろうさいゼロ

630運動

への御協力をお願いします！

6月30日は、全国安全週間準備期間の最終日です。7月1日からの本週間に備え、職場の安全衛生総点検を実施しましょう。

また、上半期の取組内容を見直し、下半期の安全衛生活動のさらなる活発化につなげましょう。

あわせて、毎月30日には安全衛生月例点検を実施しましょう。

安全は当たり前ではありません。他人の安全行動には感謝の気持ちを伝えましょう。

<事業場の概要>

名 称 横浜ゴム株式会社 本社・平塚製造所(平塚市)

業 種 ゴム製品製造業(各種タイヤの開発及び工業用ゴム製品・航空部品の開発・製造)

労働者数 2,732名

<事業場における安全衛生の主な取り組み内容>

全社の取組目標「仕組みを通じて、安全で健康な人・安全な設備をつくり、グローバルにPDCAを回す」を掲げ、各種の安全衛生活動に取り組んでいる。転倒対策やはさまれ・巻き込まれ対策として、体感訓練道場を設置している。また、ロール機などの安全装置に関しては、作動すれば惰性回転が生じずに停止する。さらに、タイヤなどの重量物の運搬について、リフターを活用し、重量物運搬でのリスクを最小限としている。加えて、熱中症についても発生時の対応教育やハイブリッドクーリングベストを活用し、発生防止に努めている。

平塚労働基準監督署長のコメント

体感訓練道場において、滑りやすい床、ロール機の非常停止ボタン、油圧と空気圧の停止の違いなど、災害につながりやすい場面について、危険を実感することができました。災害件数の減少によって体験者が減っている中、非常に有意義な取り組みと感じました。



滑りやすい床